

http://www.minamih.net/



11・4・17(日)
南NEWS NO 4

むさしのリーグ

2011年4月2日(土)文化大G

南八王子0-6白百合

地震の影響で練習ができず、久しぶりのサッカー、試合だったこともあり、緩慢な動きの連続で失点を重ねました。

白百合、西原は東京都でベスト8以上に入る実力のあるチームです。2日の白百合戦は為す術もなく敗れましたが、明るく3日の西原戦では同じ6失点で敗れましたが、数的優位が保たれたときは相手のボールを奪い、シュートまで持ち込むことができていました。

気持ちで負けなければレベルの高い相手でも戦うことができるのです。いつもの練習で教えられたこと、自分達のものにしてきたことを精一杯発揮すれば力はあるのですから結果は出ます。青梅招待で実力のあるチームに勝ったのはブロックではないのですよ。

by 南のアンパンマン

むさしのリーグ

2011年4月3日(日)文化大G

○チームのめあて

・すばやいアプローチ・コミュニケーション・サイドチェンジ

南八王子1-0大和北 前半0-0 得点者：工藤君

ここ2試合連敗中の相手です。前半開始1分、工藤君がオーブンシュートを放って勢いをつけます。吉田君のコーチングの声がよく響きます。課題の相手コーナーでも手で相手の背中を触ってしっかりとマークつかんでいました。すばやいアプローチで相手に自由なプレーをさせずよく戦っています。

後半に入り、一進一退の攻防が続きますが、10分、GK牛窪君のパンツキックから工藤君がディフェンダーと競り合いながら抜け出し、ゴールを奪います。1-0と先制。守りでセンターバックの中野君が相手のクロスをよく読んでヘッドで何度も跳ね返しピンチを防ぎます。試合はこのまま1-0で勝ちました。



南八王子0-6西原 前半0-4

2試合目。前半1分、3分に連続失点。10分相手GKへ鋭くプレスをかけミスキックを誘い、そのボールを拾った工藤君がシュートを打ちますが、惜しくも外れます。12分、18分にも失点し0-4で前半を終えます。

中央を崩されての失点が多かったため、守備時中央に絞り、カバーリングも意識するようにして後半に臨みます。後半1分、いきなり相手にPKが与えられますが、後半からGKに入った細川君がこれを見事にストップします。その後2失点を喫してしまいましたが、効果的にディレイもできるようになり、中央のカバーの意識も高まり前半のように崩されるシーンは減りました。攻撃面ではむやみにけってしまう場面が見られましたが、ボールを持っていない選手がもっと積極的にサポートに入り、ボール保持者に対して声をかけましょう。

南八王子4-0プリメイロス 前半3-0 得点者：牛窪君2点、荻沢君、林君

この試合はポジションを少し変更しました。普段GKの牛窪君がFWに入りますが、なんと2得点の大活躍。4分、吉田君からのスルーパスを左足シュートでゴール。11分には荻沢君からのパスを受けるとミドルシュートを突き刺します。他のメンバーも負けていません。17分、林君のインターセプトから能登君がシュ

ート。18分、小沢君が縦に送ったパスを斜めから鋭く走りこんだ荻沢君がキーパーをかわしてシュート。チーム3点目を奪います。

後半5分、能登君が再びシュート。8分、加藤君がペナルティアリア内での突破から攻めあがってきた林君に短いパス。ダイレクトシュートを流し込み4-0と突き放します。この後は攻めながら追加点は入らず終了しました。

4試合を戦い2勝2敗でした。実力が上のチームに対して、どのように試合をするのかが6年チームの重要なテーマのひとつです。試合の進め方も考えていかなければならないのですが、それ以上に「気持ち」を強く持って臨まなければ、差は縮まりません。今まで勝ったことのない相手に対してだって、今度こそ勝ってやるという気持ちをみんなが持つことでその可能性が出てくるものだと思います。ただ、強い気持ちは根拠無しには生まれてこないでしょう。やはりこなした練習の量があってこそ、自信が付き芽生えてくるものです。

目標の大会はすぐ目の前です。平日でも練習の機会を矢上代表が用意してくれています。みんなが「やりきった」と思えるくらいにのめりこめば、厚い壁だってきっと打ち破れるはずですよ！！

by 加藤コーチ

2年生 対太和田練習試合 4月2日(土)文化大G

南八王子4-2太和田 前半0-1 小笠原君3 オウンゴール1

7. めあての達成

☆チームのめあて

攻めるときは、みんなでボールを追いかけ、守るときはボールの後ろからだけ追わずに、ボールとゴールの間に行く

☆達成度

みんな意識してボールを追いかけて、数人は守備の時にボールとゴールの間に走って守っていた。

8. コーチ所見

記入者名：小笠原 教恭

試合結果： 4 vs 2 (0 vs 1)

松林君のターン、渡邊さんのランウィズザボール、小笠原君の技を使ってのドリブルが良くできていました。小笠原君の混戦からの抜け出しがうまくいってました。

